

Meiji Seika ファルマ Webカンファレンス

日 時 2020年11月19日(木)
①12:20～12:50 ②13:00～13:30

演 題 COPD患者において
鼻症状に注目する臨床的意義

演 者 山口大学大学院医学系研究科
呼吸器・感染症内科学講座
教授 松永 和人 先生

COPDの主要な原因物質である有害粒子の吸入は少なからず上気道を経由する。現在、COPDと鼻炎の合併については多くを論じられていないが、興味深いことに上気道と下気道の気道閉塞の程度は相関し、禁煙後も炎症が持続することが共通の特徴との報告もある。また、ウイルス感染時にCOPD患者の鼻炎症状や上気道、下気道のウイルス量は健常者より著明に増加することや、下気道症状に先行して上気道症状が悪化することが報告されている。鼻炎患者では抗ヒスタミン剤の治療介入でウイルス感染のリスクが減少する可能性が示されている。

本講演では、最近注目されているCOPDと鼻炎の関連性とその治療戦略について考えていきたい。

主催:Meiji Seikaファルマ 株式会社

明日をもっとすこやかに

meiji